

企業名： Zホールディングス

レポート名： 統合報告ポータル (更新日:2022/11/15)

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

Zホールディングスでは『UPDATE THE WORLD-情報技術のチカラで、すべての人に無限の可能性を』をミッションに掲げており、情報技術を支柱に、国内1はもちろん世界に通用する情報プラットフォームとしての役割を担おうとしていることがこの統合報告ポータルから読み取れる。人々が知りたいこと、欲しいものに不便なくアクセスすることができる未来の実現をZホールディングスは目指しているのだとわかる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

Zホールディングスは、SNS 利用率国内 NO.1 の LINE、トータルデジタルリーチ国内 NO.1 の Yahoo!、スマホ決済サービスユーザー数国内 NO.1 の PayPay という3つのアプリを有しており、コミュニケーション・情報・決済という3つのアプローチによりZホールディングスの提供するサービスは日本の人々の生活に浸透していると言え、その点にこの企業の競争優位性を理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

まず、現在 LINE という多くの人々のコミュニケーションツールとして定着しているプラットフォームの統合により、すでに Yahoo!で獲得していた既存の利用者基盤に加えて、新規の利用者が加わり、国内最大と言って差し支えない利用者基盤を有していることになり、新規の企業が参入することは難しい状態だと言える。それに加えて、PayPay というコロナ禍の需要に沿って利用者をさらに獲得したサービスの提供により、国内のバーコード・QR決済市場で圧倒的な地位の獲得に成功している。このような観点からも、Zホールディングスの競争優位性はそう簡単に失われるものではないと判断できる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

私は、Zホールディングスにおいては、情報へのアクセス能力や情報プラットフォームの利用能力、情報リテラシーに関するスキルを獲得できるように考える。LINE や Yahoo!という多くの人が情報収集・コミュニケーションで利用するようなサービスの運営側に回ることで、多種多様な情報を選別・理解する能力が養われると推測することが可能である。また、日常的に最新の情報に触れ、多くの人が利用する情報プラットフォームを運営していくことで、性別・人種・文化などの多様性を尊重し、新たな価値創造を果たせるような人材がZホールディングスにおいては育成されていくことが統合報告ポータルから読み取ることが

できた。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

具体的に『私たちの強み』という項目で、自社の強みを説明する項目が設けられていることで、初めて統合報告書を見るような人に対しても Z ホールディングスの、他の競合他社に対する競争優位性が理解できるような仕組みとなっており、同業他社との差別化につながる取り組みだと感じた。改善点としては、統合報告書の内容のカテゴリーが少々多いように感じた。自分が企業の強みを把握したいと思った時に、統合報告ポータル最初のページを開いた時点でどこに何が書いてあるか理解できるシステムの方が、情報へのアクセスに関してストレスが少ないように感じたため、統合報告ポータルの 1 ページ目にはそのような改善がなされても良いように思う。